



しようどしま町



オリーブオイルセミナー (オリーブ公園・1月18日~20日)

議会だより 2

2009年 No.11
平成21年2月1日発行

- 新年のあいさつ P2~3
- 審議議案 P4~5
- 一般質問
10名の議員が質問 P6~9
- 委員会活動報告 P10
- 委員会研修報告 P11
- 住民の声・議会日誌など P12



■発行／小豆島町議会 ■編集／小豆島町議会広報編集特別委員会

〒761-4388 香川県小豆郡小豆島町池田2100-4 TEL(0879)75-1100 FAX(0879)75-0108



藤本 傳夫 議員



- ① 小豆島のいろんな魅力を日本中・世界中に発信しよう。
- ② 時計収集
- ③ 小さな事からこつこつと
- ④ すし
- ⑤ 開運なんでも鑑定団



森口 久士 議員



- ① 任期最終の年度であり、初心を忘れず、より一層精進し、議員活動に取り組みます。
- ② スポーツ観戦
- ③ 誠心誠意
- ④ 魚
- ⑤ 洋画・サスペンス・報道番組



本年も 宜しく

- ① 新年の抱負
- ② 趣味
- ③ 好きな言葉
- ④ 好きな食べ物
- ⑤ 好きなテレビ番組



森 崇 議員

- ① 一人の力は小さいが多く集まれば大きくなります。今年もよろしくお願いします。
- ② 写真
- ③ 調査なくして発言なし
- ④ 野菜
- ⑤ NHKの朝ドラ



中村 勝利 議長



谷 清 議員

- ① あけましておめでとうございます。今年は情熱、責任感、判断力で前進あるのみ。
- ② 音楽鑑賞
- ③ 真実
- ④ 何でも好き（嫌いな物なし）
- ⑤ スポーツ全般

- ① 合併をして4年目になりました。皆様の声を市政に活かし、住みよい町づくりに頑張ってみます。
- ② 園芸
- ③ 一生懸命
- ④ 麺類
- ⑤ スポーツ番組



新名 教男 議員

- ① 世の流れに一喜一憂せず、小豆島の土地にしっかり腰をすえて。
- ② スポーツを楽しむ
- ③ 脚下照顧
- ④ すし
- ⑤ スポーツ観戦



安井 信之 議員

- ① 今、世の中の形が大きく変わっていく中、自分の信念を強く持っていきたい。
- ② ゴルフ(最近はお無沙汰です)
- ③ 初心忘るべからず
- ④ 肉料理・白身魚
- ⑤ 政治・情報・スポーツ番組



山中 彰 議員

- ① 経済不安について株安円高が、小豆島町中長期計画にどんな影響を及ぼすのか？注視していきたい。
- ② 釣り
- ③ 心機一転
- ④ 焼肉
- ⑤ 大河ドラマ



井上 喜代文 議員

- ① 10kgの減量をめざし、
- ② 体力をつけること。
- ③ ゴルフ・旅行
- ④ 雑草のごとく
- ⑤ 焼肉
新婚さんいらっしゃい



- ① 今年もみなさん方の声を大切に、主権在民の政治で住みよい町づくりに向けて前進。
- ② 演歌を聞くこと
- ③ 前進
- ④ 特になし
- ⑤ 野球



中江 正 議員



- ① 世界的不況へ突入し経済収縮がはじまっている。粛々と生きてゆこう。
- ② 音楽・写真撮影
- ③ 色即是空色即是色
- ④ うどん
- ⑤ その時歴史が動いた歌謡曲番組



浜口 勇 議員



- ① 暮らしと平和を守る新しい政治めざし、みなさんと力をあわせてがんばります。
- ② 読書・映画鑑賞
- ③ 知は力
- ④ カレーライス・ケーキ
- ⑤ トップランナー



鍋谷真由美議員



- ① 今年は干支の当り年。丑のように粘り強く、住民の願いを実現に向かってすすみます。
- ② 音楽を聴く
- ③ 真実一路
- ④ いろいろな魚
- ⑤ N響アワー



村上久美 議員



秋長正幸副議長

- ① 島の皆様が、幸せな良い年でありますように。今年は島の交通問題を勉強します。
- ② 自然の中でいい気持ちになること
- ③ ゆっくりと大切に
- ④ 肉じゃがの煮つけ
- ⑤ NHKニュース



藤井源詞 議員



- ① 内海ダム再開発、国の認定、本体着工、願う初夢。「住んでよし、訪ねてよい」まちづくりに取り組みます。
- ② 畑仕事
- ③ 忠恕・一期一会
- ④ 麺類・漬物
- ⑤ スポーツ・高校野球



- ① 人に求めず、自分を変えようと努力します。すべては我が身の一步からよろしくお願い致します。
- ② スポーツ観戦・マラソン・野球(阪神タイガースファンです)
- ③ あせらず、あわてず、あきらめず
- ④ 玉子料理なら何でも
- ⑤ 水戸黄門・開運なんでも鑑定団



新茶善昭 議員



- ① 物事を生み出す年。しっかりと大地を踏みしめ、何事も全力投球で取り組みます。
- ② 絵を描く・読書
- ③ 高志低居
- ④ 麺類・天ぷら
- ⑤ 開運なんでも鑑定団



渡辺 慧 議員

- ① 住民と行政ともに協力し、この大不況を乗り越えられるよう頑張り、未来ある島をめざそう。
- ② スポーツ全般
- ③ 為せば成る・信頼
- ④ 野菜・魚・肉
- ⑤ クローズアップ現代



植松勝太郎議員



お願いします

内海中学校体育館着工

第4回定例会を12月16日、18日に開催し、第1日目は一般質問、答弁が行われ、町長から提出された「人権擁護委員の推薦」に同意する案件をはじめ、条例の一部改正など15議案及び議員発議による「小豆島町議会会議規則の一部改正」が提案されました。「町道路線の認定」は、建設経済常任委員会に付託し、その他の議案は原案どおり可決・同意しました。

第2日目は、付託議案の採択や「平成20年度各会計補正予算」など6議案、議員発議による「意見書」2件及び「広報編集特別委員会の設置」が提案され、原案どおり可決しました。

なお、9月開催の第3回定例会で、決算特別委員会に付託した「平成19年度決算認定」については、決算特別委員長から審査報告を受けた後、質疑・討論・採決を行い、賛成多数により認定しました。

審議した主な議案

平成19年度決算（意見を付けて）認定

平成19年度小豆島町歳入歳出決算認定については、決算特別委員会では、3日間（3日間）の結果、意見を付けて認定するものと決定しました。

決算特別委員会では、理事者や監査委員の出席を求め、提出された資料に基づき、町政全般について慎重に審査しました。

なお審査の結果、次の意見をつけました。

- 総括意見
未収金対策については、4月より収納対策室を設置し、徴収方法も検討実施されているが、各課共通認識、情報交換を行い、なお一層の収納対策に努められたい。
- 企画財政課
移住促進事業は、県補助がなくなっても町単独事業で推進に努められたい。今後町財政が厳しくなるので、なお一層の歳入に関する情報収集に努められたい。
- 商工観光課
食品産業クラスター事業において、素麺についても他の産業と同時に、「本場の本物」の認定に向け努力されたい。
- 内海病院
地域医療が継続されるため、創意工夫に務められたい。

人権擁護委員に
三木良榮氏を
選任



三木良榮氏

現在の人権擁護委員の三木良榮氏（苗羽）の任期が平成21年3月31日をもって満了となりますので、引き続き同氏を再任することに決定しました。

人権擁護委員は三木氏のほか、次の方々です。

- 森川 桂輔氏（西村）
- 中武 義景氏（安田）
- 熊坂 泰忠氏（福田）
- 日向 育子氏（池田）
- 赤谷 勝之氏（二面）
- 太田 久代氏（吉野）

補正予算

一般会計（第4号）

補正予算額は2970万5千円の増額で、補正後の予算総額は78億5434万9千円となります。

主なものは、次のとおりです。

- 総務費
住民税金特別徴収開始対応システム改修 890万4千円
- 民生費
障害者自立支援給付費等 国庫負担金等返還金 266万8千円
- 教育費
池田小学校耐震改修工事 実施設計委託料 661万5千円
安田小学校耐震診断及び補強計画作成業務委託料 217万4千円

条例の一部改正

○条例の一部改正

町民税では、税源移譲による特別徴収の義務化により、前納報奨金制度が普通徴収と特別徴収との不公平が生じるため、前納報奨金制度を廃止するものです。

○国民健康保険条例の一部改正

産科医療保障制度の保険料の水準をふまえ、出産育児一時金について3万円の加算を行い38万円とするものです。

○小豆島町病院事業の設置等に関する条例の一部改正

新たな病院事業として、介護保険に係る介護予防通所リハビリテーション事業、及び障害者等の短期入所を実施するものです。

○内海病院の使用料及び手数料条例の一部改正

介護保険法に基づく介護予防通所リハビリテーション事業及び障害者自立支援法に基づく短期入所事業を実施することに伴う利用者負担金を規定するものです。

す。

また、産科医療制度の補償の実施に伴い、その掛金相当額を引き上げるものです。

町道の認定

町道後山6号線は、内海ダム再開発関連事業の付替道路の一部工事が今年度で完了する。それに伴い完了区間の供用を開始し近隣住民の利便性の向上を図るため、新たに認定しようとするものです。建設経済常任委員会に付託し、現地調査の結果、原案どおり可決し

ました。

・路線名	後山6号線
・起点	神懸通字後山
・終点	甲188914 神懸通字後山
・延長	甲200712 120m
・幅員	4.0m

物品購入契約

○福田小学校スクールバス
購入事業
契約金額 1197万円
契約の相手方
カーサービス三木

代表者 三木康道

議員発議

○地方の道路整備のための財源確保に関する意見書

1 道路特定財源の一般財源化に際し、税の受益と負担の関係の整合を図ると共に厳しい地方財政の状況を踏まえ、財源の維持の努めること。

2 中期計画の見直しに当たっては、地方が真に必要なとしている道路整備を遅らせることがないようにすること。

3 「地方道路整備臨時交付金制度」等が平成20年度で終了のため、地方に配慮された制度等の維持または、それに代わる制度を創設すること。

4 安全で安心な生活空間を確保するため、道路の交通安全対策、渋滞対策、環境対策、防災対策等を一層促進すること。

○トンネルじん肺根絶の抜本的な対策を求める意見書

1 国は「トンネルじん肺防止対策に関する合意書」に基づき、トンネルじん肺根絶のための対策を速やかに実行すること。

10月臨時会

2 公共工事によって発生するトンネルじん肺被害者の早期救済を図るため、「トンネルじん肺基金制度」を早急に創設すること。

第2回臨時会は、10月31日に召集され補正予算など3議案が提案され、原案どおり可決しました。

一般会計（第3号）

補正予算額は3511万9千円の増額で、補正後の予算総額は78億2464万4千円となります。

主なものは、次のとおりです。

○教育費

福田小学校統合用スクールバス購入事業

1490万円

内海中学校屋内運動場建設工事 2000万円

工事請負契約

工事名

内海中学校屋内運動場建設工事

工事概要

鉄筋コンクリート造
一部鉄骨造2階建
建築面積1531㎡
延べ面積1630㎡
契約金額4億320万円
契約相手
合田・壺井特定建設工事
共同企業体



内海中学校体育館起工式

辺地総合整備計画の変更

財政上の特別措置である辺地対策事業債の発行を得るため、平成20年6月に策定した福田辺地の総合整備計画において、スクールバスをマイクロスバスから中型バスに変更したことにより、事業費を増額するものです。

一般質問

谷 清 議員
新名 教男 議員
浜口 勇 議員
中江 正 議員
森口 久士 議員
村上 久美 議員
森 崇 議員
鍋谷真由美 議員
安井 信之 議員
渡辺 慧 議員

【傍聴者13名】

後継者のいなくなった オリーブ植栽地の管理は



谷 清 議員

も懸念されます。また、その労力の相当部分を収穫作業が占めるといわれており、収穫応援隊の組織化も検討しています。
農家の方が安心できる体制の整備やルール作りを行いたいと考えています。

谷議員 オリーブ栽培農家より後継者がいないと聞く。

本人も老齢で先行き不安である。放置すればゾウムシにやられ、激減した昔に返ることだけは絶対に避けなければならぬ。百年祭を機にこの事案についてどう捉えているのか。

答弁 オリーブ栽培者の高齢化が進んでおり、数年後には継統できない農家が発生し、畑が荒廃すること



内中管理農園（片城）

電算室の設置を 計画しては

来る電算室を設置する本格的な体制作りが出来ないか。

谷議員 予算書、決算書を見るたびに目につくのが電算委託料などだが、これからの財政を考えると、これから十までメーカーに頼るのはいかなものか。準備期間があるが職員にもパソコンに秀でた人もいます。何とか自前でこれをカバー出

答弁 小規模な自治体では現在の委託併用方式がコストの点から最も有利と考えます。
電算関係の経費は非常に高額であり、各支出に関しては見積書を精査し必ず価格交渉を行い、適正な機器と体制で費用対効果を精査して対応します。

テレビ電波の デジタル化への対応は

る。
テレビは各家庭に設置されており、テレビによる情報は現代生活に欠かせないものとなっている。
小豆島町民が画像鮮明なデジタル放送の恩恵を享受できるように、総務省へ対策を働きかけるべきだと思

答弁 デジタル波では、視聴できなくなると見込まれる地域について、放送事業者が本年9月から12月の間に、「現地の実態調査」を行い、その結果をまとめ、その結果をまとめたうえで、対策が必要な場合は、その手法や時期、費用などについて検討します。

さらに、対策ができない

商工まつりの今後は

と判断される地域について、四国総合通信局を始め、放送事業者と連携して、難視聴世帯解消に向けた手法の中から、一番適した方法について協議を重ねていきます。



地デジ 2011.7.24 スタート



浜口 勇 議員

浜口議員 小豆島町の地形は、東の吉田地区から、西の内部地区まで山あり、谷あり、半島ありで変化に富んでいる。
今、見えているアナログ放送が、デジタル化によって見えなくなる地域がで



森口久士 議員

森口議員 10月25日・26日にオリーブ公園で開催された。これで候補地3カ所をまわった。開催の結果、どのような検討をしているのか。
今後が続けるのか、続けるのであれば場所など決定しているのか。

森口議員 現在も残土はある。観光客、住民などからいつまでも災害のイメー

平木の埋立地の 利用計画は



商工まつり（オリーブ公園）

答弁 出店者や過去に出店されていた方にアンケート調査を実施して分析、比較検討資料を作成しています。多くの町民に参加をいただき、一定の効果をj得ています。来年度以降も継続して開催したい考えです。年明け早々に、振興会を開催し、場所や日程、費用対効果も勘案し、今後の方向性を決定します。

森議員 11月17日のクロージアアップ現代をどう見ているのか。「自治体財政健全化法」によって、全国の路線バス932路線が廃止されている。別のテレビでは、この法律で、市民病院を閉鎖状態にした市長のリコール問題（銚子市）に触れていた。日本に「公共交通の定義」がないからこんなことが起きる。国に発言すべきだ。

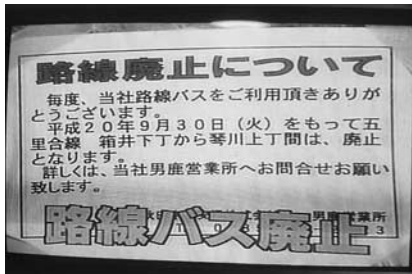


森 崇 議員

NHKクロージアアップ現代から

答弁 出来るだけ21年度末までに残土を撤去し、整備を行いたい、予算配分

や事業進捗で、平成22年度になる可能性もあるとのこと。跡地利用はひとまず、現計画の緑地公園として整備、最善の活用策を待つことも選択肢の一つと考えます。広く意見を伺いながら最善策を探ります。



全国で932路線が廃止

答弁 自治体財政健全化法については9月議会でも説明しましたが、イエローカード、レッドカードの2段階で財政のチェックをするものです。また島バスなどが憂慮すべき状況にあるのは事実です。国に定義が「あるうが、なかるうが」



安井 信之 議員

光通信網整備の行方は

安井議員 情報通信網整備の必要性は、これからのさらなる情報化社会において重大な要素である。光通信によるサービスが提供されているが、その恩恵にあやかれない状況だ。今取り組んでいる移住促進施策においても、一歩遅れをとる要素となつてい

る。今後の取り組みは。答弁 総務省は2010年までに国民の100%が、高速または超高速を利用可能な社会をめざしています。現行では、NTTによりADSLのサービス提供がなされています。光ケーブル回線は一部の専用回線です。光通信網の導入については、多額（約42億6000万円）の費用が必要で、今後、新しい無線技術などを模索してまいります。

財政逼迫の真の原因はなにか

森議員 国も県も町も財政が逼迫している。銀行、商店、公共交通、労働法制など規制緩和で済まそうとしている。その結果、町は

どこも破綻寸前だ。真の原因を町はどう思うのか。答弁 最大の原因は小泉内閣が進めた三位一体改革に集約されると考えています。交付税は国全体で5兆1000億円削減され、わが町も平成15年度に比べ18年度は額にして3億8900万円、率にして11.1%減額となっています。

重要施策に スピード感を

安井議員 来年度から、合併特例債の補助は第2段階となる。その中で場当たりの対応が執られることは、将来的に大変問題である。旧町時代の重要課題は、集約的かつスピードが必要と考えるが。

答弁 旧町の行政課題を新町に引き継いだことは当然のことです。合併後、重要課題は、新町建設計画に織り込まれています。スピード感を持って取り組むことは、大変重要であると思っています。



教育によるまちづくりを



新名教男議員

新名議員 今、新聞・テレビ等で報道されているように「日本人がおかしくなってきた」とこれらは教育に起因するところが大きい。地方分権が加速し特色ある地方行政が望まれている。

小豆島町の地場産業・観光産業・オリブとともに「教育によるまちづくり」を推し進めてはどうか。

答弁 本町の四つの基本方針の一つに「瞳輝くまちづくり」を掲げており、教育の充実が町にとって基本です。

将来の本町を託していただける若者や子どもたちを育てる施策を、教育委員会とも共同して展開していきたいです。



新1年生体験入学（苗羽小学校）

町教育の問題点は

新名議員 町の学校教育においても日本全国と同様に多くの問題を抱えている。

町教育委員会として、小豆島町の教育の問題点をどう分析し、その解決のためどう指導助言しているのか。

答弁 課題の一つ少子化、核家族化により子どもの自主性や社会性が育ちににくいという問題があります。

- 対応として、
1. 開かれた信頼される校・園・所づくり
 2. 確かな学力の育成
 3. 人権同和教育の充実を重点目標としています。
- 学校施設のあり方については学校再編整備検討委員会

寝たきりの方に紙おむつ支給と実績状況は



中江正議員

中江議員 介護保険制度での在宅サービスで、対象者のすべての方に紙おむつを支給している。

この介護用品などの事業実績について、また在宅介護者や施設入所の自己負担額の軽減策はどうなっているのか、今後の在宅介護の支援についてどう考えているのか。

答弁 家族介護継続支援介護用品支給事業により、



介護用品

おおむね65歳以上の要介護4または5と認定された方を在宅で介護している方に紙おむつ、尿取りパット、使い捨て手袋、ドライシャンプー、清拭剤の5品目を購入する際の助成券を支給しています。

会で協議中です。

昨年度より、小・中学校に加え幼稚園、保育所へも指導、助言を行っています。管理職に加えて全教職員へも指導、助言を伝えられる体制を進めます。

保育運営などのあり方について



村上久美議員

村上議員 保育制度改革による直接契約・直接補助方式の導入、保育所の入所基準などの見直しは、本町の保育運営にどのような影響を与え、どう対応するのか。

保育は、子どもの視点から考えること、子どもとの関わりが極めて大切。保育者同士が日常的に交流し、よりよい保育内容を作り、人間関係を築くこと。このような保育のあり方をどの

額は町民税課税世帯は月1000円、非課税世帯は6250円です。事業実績は平成18年度53名に97万2500円、平成19年度62名に127万5200円、平成20年度は11月末で70名の

ように取り組まれているか。

職員の保育免許取得の時間確保や費用の支援を考えるとはあるか。

答弁 これらの法律は利用者のために改善したものです。保育所の最低基準も昭和23年に制定されており、見直しが必要ですが、まだ明確にされていません。

本町には保育所2施設、2分園。認可1施設、無認可3施設ありますが、入所待機児童はいません。

保育は子どもとの関係を大切にし、定期的に職員会議や保護者との面談に努めています。保育士の資格は個人的に受験しています。

利用があり、本事業は広く浸透しています。

また、6か月以上寝たきりの方の紙おむつは、医師が認めた場合、税の医療控除の対象となります。

答弁 住民が大量のごみ発生で直接搬入するのは年間何度もあるものでなく、許可書発行で行っています。これまでどおり池田と内海庁舎の窓口で対応したいと考えますので、ご理解願います。事業者は法によって処理しています。

村上議員 ごみの直接搬入は、庁舎から離れた住民に対して出張所での受付処理ができるよう、利便性を図るべきでは。

出張所の受付でごみの直接搬入を可能に



楽しい食事（内海保育所・苗羽）



母子手帳と受診票

鍋谷議員 庁内で検討中の子育て支援は、来年度どう取り組むのか。
国の方針でもある妊婦健診無料回数増、土庄町が実施する病児保育、内海地区での学童保育などの支援策実施を求める。



鍋谷真由美 議員

妊婦健診無料回数増などの子育て支援策を

答弁 予算編成中であり、具体的な話はできませんが効果的な施策を打ち出したと思います。

妊婦健診無料回数増の実施は、国の方向性を見極めてつつ検討を重ねていきます。病児保育は土庄の状況を見ます。学童保育は検討中です。

内海ダム再開発見直しを

鍋谷議員 川辺川ダム（熊本県）などに県知事が反対を表明、国土交通省もダム事業見直しのプロジェクトチームを発足させる。
財政が大変だというなら、事業認定がまだ行われていない内海ダム再開発事業見直しを。

非正規雇用職員の待遇改善を

鍋谷議員 不安定・低賃金の非正規職員が3割を占め、行政が格差を作っているのは問題だ。
特に保育の職場で仕事の身が同じなのに、権利・賃金が違う状況の是正を。

「小豆島を描こう」 絵画公募展を開催しては

答弁 臨時職員の賃金は、町内でも不当に低くはなく、欠員補助、高度な判断を行わない業務に限定・配置し、業務処理に支障をきたさないよう配慮しています。
臨時・嘱託保育士が多いのは、好ましくはないが、財政的に厳しい中、やむを得ない状況です。



渡辺 慧 議員

渡辺議員 名勝「寒霞溪」は日本三大渓谷美の一つとして、昔より多くの文人墨客たちが訪れ、奇勝、妙景を天下に知らしめてきた。
また、最近でも著名な画家たちが滞在したり、アトリエを構えて制作活動を行っている。このように島は

絵画との縁も深く、優れた芸術家たちを輩出している。
現在継続されている「美術ワークショップイン小豆島」また、昨年より「芸術家村構想」の取り組みも始まっている。この機会に絵画の公募展を開催することは大いに意義のあることと思うが。
作品の受付は直接搬入搬出とすれば島を訪れることも多くなり、賑わいにもつながり、町民にとっても芸術文化に親しむ機会が増えることにもなる。ぜひ実施



「オリーブの丘」(木下 勝)

すべきだと思うが。
答弁 現在、町内の絵画展としては、「二十四の瞳・岬の分教場絵画展」が、毎年開催されており、県内の小・中学生を対象に募集し、入賞作品を表彰しています。
公募展を実施するには、募集対象、審査員の選考、予算確保など厳しいものがあり、現段階では、まず、香川県と連携して進めている「芸術家村事業」の推進をスタートとして、今後の発展的構想の中で検討します。

委員会活動報告

(議会の閉会中に、主要な案件などを調査・審議したものです)

常任委員会

教育民生

平成20年12月1日委員会を開催し、次の意見を出しました。

◎放課後子どもプランについて

教育委員会でお検討する必要がある。
いろいろな形態での運営方法も含めて、幅広く検討願いたい。

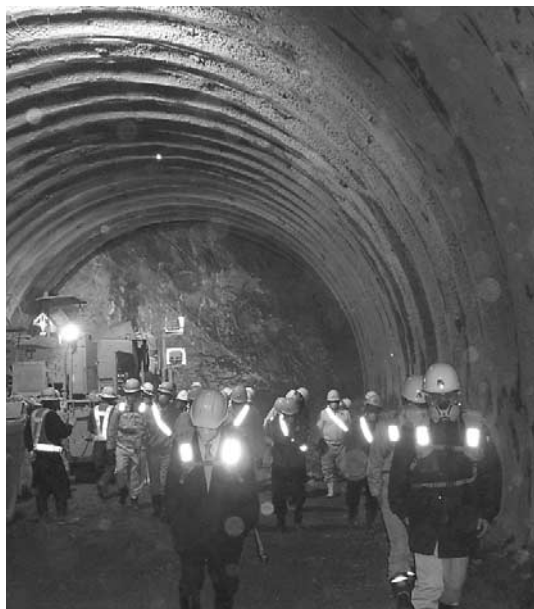
◎給食センターの運営状況について

①食材の購入方法を検討願いたい。

②学校給食センター運営委員会を早期に開催し、検討願いたい。

建設経済

平成20年11月12日委員会を開催し、国道436号道路改築工事及び植松都市下水路再整備事業の工事現場を視察しました。



工事中の橋トンネル

議員定数

平成20年10月2日委員会を開催し、次の結論を出しました。

各自自治会の意見集約の説明を求め、出席議員、傍聴議員から議員定数、議員報酬についての意見を集約した。

定数については、現状維持の18名、2名削減の16名、4名削減の14名の意見が出たが、16名の意見が一番多く、委員会としては2名削減の16名の結論とした。

議員報酬については、委員・議長から議員定数16名としての意見を求め、削減の意見が9人中4人を占めたことを報酬審議会に報告するということで決定した。

庁舎問題

平成20年11月12日委員会を開催し、次の中間報告を出しました

出席議員・傍聴議員に各一人ひとりから、本庁舎方式か分庁舎方式か、また本庁舎の位置並びに建物は建て替えか既存施設の利用かなどについて意見を求めた。

委員には本庁舎、分庁舎方式につき結論を求め、本庁舎方式の意見が大半を占め、委員会としては本庁舎方式を採用する結論に達した。

次回には、想定できる場所についてシミュレーションを作成していただき検討することと会を閉じた。

特別委員会

内海ダム

平成20年11月26日委員会を開催し、執行部及び香川県から経過報告を受けた。

また、12月5日には内海ダム特別委員会の委員5人が、「ダム工事の早期本体着工を求める要望書」を県知事と四国地方整備局長に提出しました。



高木副知事へ要望書提出

常任委員会視察研修報告

総務・教育民生・建設経済の3常任委員会は、平成20年11月6日長崎県南島原市役所で「自主防災組織について」、翌7日は、福岡県大木町の「おおき循環センター」で視察研修を行いました。

長崎県南島原市

「自主防災組織について」

- 〔研修内容〕
- ①自主防災組織結成の経緯
 - ②自主防災組織の現状
 - ③自主防災組織の育成、強化について
- 担当職員から説明を受けた後、質疑応答を行いました。

〔研修を終えて〕

今回の視察研修を新たなスタートとして、ますますの友好親善と互いの発展を祈りつつ閉会とした。

その後、バスで移動し、



自主防災組織研修（西有家庁舎）

深江町の被災小学校跡地及び大野木場砂防みらい館で現地視察を行った。

水無川に本流以外のバイパスを造って火砕流への対策を施すなど大規模な対策工事の様子、平日にも関わらず大型バスやマイクロバスで次々と団体客が訪れ

る。

それを受け入れるボランティアガイドに象徴されるように15年を経過する間に被害を逆手にとって観光地化に取り組んだ様子など、研修テーマ以外にも得るところが多く、非常に有意義な研修であった。



被災小学校跡地（深江町）

福岡県大木町

「おおき循環センター」

〔研修内容〕

町内で発生する廃棄物のうち、生ごみは隣接する大川市の清掃センターに委託し焼却処分を行っていたが、処理費用の問題、また、化石燃料を加えての強制焼却や焼却灰の処分場不足など、環境的に多くの問題を抱えていた。

平成17年には国の交付金を利用して「おおき循環センター」の建設を開始し、平成18年11月にはメタン発酵施設や学習施設などがオープンした。

この施設で生ごみは細かく砕かれ、し尿や浄化槽汚泥と混合し、発酵させるとバイオマス液肥となる。この肥料は町内にある約1000ヘクタールの水田の一部に還元され、減農薬、減

化学肥料のお米が栽培されていた。

また、同時に発生するバイオガスは発電に使いセンター内の照明や給湯に利用されている。

このセンターの運営には年間約6500万円かかっているが、生ごみ焼却や海洋投棄の中止で約8000万円の経費が不要となっている。



おおき循環センター

〔研修を終えて〕

わが国では、これまで大量生産・大量消費・大量廃棄の経済活動を続け、大量の廃棄物を排出してきたが、最終処分場の逼迫や不

法投棄など、さまざまな環境問題が生じている。

本町でも取り組みを始めなければならぬ課題であるが、生ごみを分別するにも、異物の除去・搬出などでの地域や各家庭の理解と協力が必要不可欠である。

今回の施設は、全国でも先進的な事例として注目を集め、毎月300人もの視察があるそうだが、ごみを資源として地域の中で循環利用し、環境を壊さない持続可能なまちづくりを進めなければならぬことを再認識した研修であった。



メタン発酵施設

議 会 日 誌

11 月

- 2~3 茨木市市制60周年記念式典 [大阪府茨木市]
- 5~7 小豆島町議会視察研修 [長崎県南島原市・福岡県大木町]
- 10 香川県町村議会議長会 (県政促進要望) [高松市]
- 12 建設経済常任委員会 (国道436号道路改築工事・植松都市下水路現地視察)
- " 庁舎問題特別委員会 (本庁舎・分庁舎方式の協議について)
- 13 道路整備促進香川県総決起大会 [高松市]
- " 長崎県五島市議会視察研修 (島への移住者について)
- 15 小豆島町内海地区戦没者追悼式
- 17 内海中学校屋内運動場鎮祭
- " 茨木市民訪問団歓迎会
- 18 熊本県議会視察研修 (オリブ振興特区について)
- 18~20 第52回全国町村議会議長全国大会 [東京都]
- 21~22 第34回茨木市農業祭 [大阪府茨木市]
- 26 鳥取県東伯郡琴浦町議会視察研修
(学校教育・小、中学校の統廃合について)
- " 内海ダム特別委員会 (内海ダム再開発事業の経過報告について)

12 月

- 1 教育民生常任委員会
(放課後子どもプラン・学校給食センターの運営状況について)
- " 小豆郡町議会議長会
- 5 内海ダム特別委員会 (内海ダム再開発事業の要望) [高松市]
- 8 総務常任委員会 [委員会人事について]
- " 交通問題特別委員会 [委員会人事について]
- " 議会運営委員会 (第4回定例会の運営)
- 16 第4回定例会 (第1日目)
- " 議員懇談会 (陸上交通について)
- " 議会広報編集委員会 (議会だより第11号の編集)
- 17 建設経済常任委員会 (付託議案審査)
- 18 第4回定例会 (第2日目)
- 24 小豆地区広域行政事務組合議会 [土庄町]

1 月

- 4 小豆島町消防出初式 [池田中学校]
- 6 部落開放同盟香川県連合会2009年新春「旗」開き [丸亀市]
- " 議会広報編集特別委員会 (議会だより第11号の編集)
- 11 小豆島町成人式 [サン・オリブ]
- 13 議会広報編集特別委員会 (議会だより第11号の編集)
- 15 部落開放同盟香川県連合会小豆郡連絡協議会
2009年新春「旗」開き [土庄町]
- 26 南島原市議会広報編集特別委員会視察研修
- 27 香川県広報発行町議会連絡協議会視察研修 [高知県越知町]

渡 辺 慧 記

皆さま方には健やかに新年を迎えられたことと思います。

昨年より小豆島町ではオリブ植栽100周年を迎え、各種イベントが催され、マスコミにも数多く取り上げられました。そうした効果もあって各施設においては、大幅な観光客の伸びが見られたようです。

百年祭も3月までと大詰めに近づきましたが、こうしたことがこれで終ることなく、今後にも継続していくよう、より一層の取り組みが求められます。

また、現在TBS系で放映されている小豆島を舞台にした、愛と感動のドラマ「ラブレター」も全国に発信され大きな反響を呼んでいると聞いております。

今のような厳しい経済状況であるからこそ「頑張る・賑わいのある小豆島」づくりのため、議会と皆さま方が智恵を出し合い、力を合わせ、また希望もち、一歩一歩前進していくよう取り組んでまいります。

本年もよろしくお願い申し上げます。

住 民 の 声



『自治会とは』

小豆島町自治連合会代議員 谷 康 男 (坂手)

平成の大合併により平成15年時点で3190あった市町村が平成20年には1781と半分近くまで減少しました。しかし、自治会、町内会といわれる組織は今でも約30万もの数があるといわれています。

これらは、町村は合併しても自治会は昔と変わらず残っている、つまり昔からその地縁をもとに自然発生的にできた集落の集まりである自治会は不滅のものだと考え

られます。

昭和15年に国が発令した「部落会町内会等整備要領」によりもっぱら国策遂行のための政府機関の下部組織として働き、昭和22年ボツダム政令により全国の自治会はすべて解散させられたそうです。しかし、終戦直後の混乱の中、日々の生活を維持し身の安全を守るためには、身近な人々の相互協力が必要であったことや、行政としても住民の協力を求めざるを

得なかったなどの理由により、罰則のついた政令にもかかわらず、解散後3か月以内に8割近くが再建されたようです。

特に、平成7年におきた阪神淡路大震災での自治会の果たした役割、また近年の少子高齢化に伴う地域福祉の問題等、今後ますます自治会組織が重要な役割を担わなくてはならない時代となっているのではないのでしょうか。

小豆島町を考えるうえで各自治

会と行政との協力関係は必要不可欠なものであると考えております。

これは行政が主体となつてできるものではなく、自治会のみさんの理解と協力があつてこそできるものといえます。できるだけ多くの方に自治会活動への参加をいただき活発な意見の交換を行い、それをまた行政に伝える、そうすることで目が届く行政が行われるのではないかと思います。

編集後記

皆さま方には健やかに新年を迎えられたことと思います。

昨年より小豆島町ではオリブ植栽100周年を迎え、各種イベントが催され、マスコミにも数多く取り上げられました。そうした効果もあって各施設においては、大幅な観光客の伸びが見られたようです。

百年祭も3月までと大詰めに近づきましたが、こうしたことがこれで終ることなく、今後にも継続していくよう、より一層の取り組みが求められます。

また、現在TBS系で放映されている小豆島を舞台にした、愛と感動のドラマ「ラブレター」も全国に発信され大きな反響を呼んでいると聞いております。

今のような厳しい経済状況であるからこそ「頑張る・賑わいのある小豆島」づくりのため、議会と皆さま方が智恵を出し合い、力を合わせ、また希望もち、一歩一歩前進していくよう取り組んでまいります。

本年もよろしくお願い申し上げます。